

地域課題・目指す将来像

地域
課題

- バス路線における運転手不足や運行コストの増加
- 交通結節点や観光資源などの地域拠点間のアクセスの悪さ

将来像

- 公共交通の利便性向上による車が無くても生活できるまちの実現
- 地域に新たな周遊ルートが生まれ地域内消費の増加や来訪者増加による地域の活性化

推進体制

名称：袖ケ浦市自動運転社会実装推進協議会

地方公共団体	千葉県袖ケ浦市
国 (★は現地支援責任者)	国土交通省 ★関東運輸局自動車技術安全部技術課 関東地方整備局企画部広域計画課 経済産業省 関東経済産業局 産業部製造産業課航空宇宙・自動車産業室
民間事業者	株式会社ティアフォー、日東交通株式会社
その他	千葉県警察本部交通総務課

課題解決に向けた取組

①自動運転社会実装推進事業【自動運転】

- ・ 既存のバス路線において、自動運転レベル4のバスを運行し、運転手不足の解消と運行の効率化による持続可能な公共交通ネットワークの構築と、交通結節点と観光資源を接続することで新たな周遊ルートを創出することによる地域の魅力向上を図り、「安心して暮らせるまち」の実現を目指す。

目的と目指す将来像

自動運転技術の導入

持続可能な公共交通ネットワークの構築

- ・ 路線バスの自動運転化
⇒運転手不足の解消
⇒運行コストや運行形態の最適化
- ・ 交通結節点間（袖ケ浦BT、袖ケ浦駅）の接続
⇒交通結節点としての機能強化

&

地域の魅力向上

- ・ 交通結節点（袖ケ浦BT、袖ケ浦駅）と観光資源を直結
⇒交通利便性の向上
⇒観光、商業需要の取り込み
- ・ EVの自動運転車両を導入
⇒環境負荷の低減

「安心して暮らせるまち」

- ・ 車が無くても生活できるまちの実現
⇒自家用車利用の抑制による渋滞緩和、駐車需要の分散
- ・ 地域の活性化
⇒周遊ルートが生まれ地域内消費の増加や休日の来訪者増加